

五和小の子供たちを守るための新型コロナ感染症対策ガイドライン（案）です。

R2.5.20(水) 校長

学校再開へ向けての新たな行動様式（基本的な指導項目の確認）

1 登校前の家庭へお願いすること

- ① 規則的な生活の実施（健康管理上）早寝早起き朝ご飯 … 免疫力アップのため
- ② 家庭での毎朝の検温と健康観察「朝の健康観察カード」
- ③ マスクの準備と着用登校
- ④ 微熱、倦怠感、風邪気味、鼻水、咳等の症状がある場合は、学校連絡と自宅療養
- ⑤ ハンカチ・ちり紙持参の確認

2 登校中

- ① 登校班の友だちとの適度な距離の保持（徒歩登校の現在の状況で可）
- ② 徒歩登校時のマスク着用については、夏場の熱中症予防の観点から、マスク未着用の方法を検討しなければいけない
- ③ スクールバスの中ではマスクを着用
- ④ 必要以外の会話をしない（あいさつは行う）（徒歩もスクールバスも）
- ⑤ スクールバスの中は常時換気（窓開け）（スクールバスに依頼）

3 児童玄関では

- ① 手指の消毒（職員の担当分担）
- ② マスク着用であいさつ

4 健康観察と手洗い・うがい、換気の徹底

- ① 教室での毎朝の健康観察
（体調面で心配なときは養護教諭に引継ぎ、状況に応じて自宅療養を家庭連絡する）
- ② 休み時間に、石けんで手洗い・うがい
- ③ 教室の換気（5分間）（上の小窓は常時開放）
- ④ 流しやトイレの順番待ちは、適度な間隔保持（床のマークに沿って）

5 学校生活の基本の徹底（生徒指導面から）

- ① 「あ・そ・ふ・じ」の再指導と徹底
- ② 廊下歩行、大声を出さないなど規則遵守の再指導
- ③ 長い臨時休校における家庭生活でのネットやゲーム依存へ啓発活動
- ④ 学級の間人間関係づくりでは、差別事象を出さない指導（なかよし宣言の再指導など）
- ⑤ 感染者や関係者、医療関係者に対する偏見や差別が生じないように、正しい知識や情報に基づき、事実に基づく冷静な判断や行動をすることの指導
- ⑥ 低学年においては、特に学校生活の基本事項を早めに身に付けさせる指導
- ⑦ 児童の言動に注視し、気になることは早めの職員での共通理解と個別相談の実施

6 授業中

- ① 隣との机との距離の保持
- ② 換気は可能な限り2方向の窓を同時に開けて行う

- ③ マスク着用を基本とする（音楽や歌のときもマスク着用）
（熱中症対策として、空調設備利用、水分補給、健康観察を行う）
- ④ 体育時間のマスク着用は、別紙体育保健課の資料参照（マスク未着用への配慮等）
- ⑤ 体育の授業で、密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動はしない
- ⑥ 音楽の授業で、狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動はしない
- ⑦ 家庭科の授業で、調理実習は現在を行わない
- ⑧ 狭い空間や密閉状態での対面のペアトークやグループトークは行わない
（一斉型の発表が基本となるが、様々な表現活動を校内研修で検討中）
（表現力育成、基礎基本の習得の徹底、未習学習の回復に配慮する）
- ⑨ 友だちとの接触をする行動は控える。（手をつなぐ、腕を組む、組み体操、じゃんけん列車など）
- ⑩ 校外学習で地域の方との交流学习は、時期及び内容を考慮する
- ⑪ 視覚的な教具を教師は準備し、発することばを精選する
- ⑫ 片付け、ランドセルとり、体育整列など並んで待つ場合は、最低1mは間隔をとる
（または、グループごと行動するなど密になることを避ける）
- ⑬ 水泳の授業では、県教委からの通知を待って指導方法を検討する
- ⑭ 研究授業を参観する場合、参観者は密になることを避け、不要な発言をしない
- ⑮ 研究授業の参観については、密になる状況をつくらない
（代案）研究授業は、少人数やビデオ活用など工夫する
※保護者による授業参観の実施の場合は、留意点の検討が今後、必要

7 休み時間の遊び

- ① 友だちとくっつかない、距離を保つこと（手洗い、トイレも間隔をとって並ぶ）
- ② 運動場の遊具使用は認めるが、友だちとの距離を保つこと
- ③ 休み時間の外遊びもマスクは着用する
（ただし、熱中症予防の観点から、夏場の気温が高い場合や昼休みの長時間の遊びでは、マスクの未着用を認める。その場合は、距離を保つこと、会話を控えることを指導する。）
- ④ 休み時間の外遊び後には、手洗い・うがいを行うこと

8 給食時間

- ① 給食前の手洗い・うがいの徹底
- ② 手洗いや配膳、片付け時に間隔を開ける指導
- ③ 配膳を行う児童及び指導する教職員はマスク着用と健康観察の徹底
- ④ 対面やグループの形態をとらず、個別で前を向いた配置で食事
（必要以外の会話を控える）

9 放課後の消毒

- ① 子供の机、椅子の背もたれ、教室のドアノブ、トイレのドアノブ、水洗レバー、水道の蛇口などの消毒を教師が行う（漂白剤を薄めた液体をゴム手袋をしてふく）
- ② 10分間は窓を全開にして換気する（強風時は開ける幅を調整する）